

経営比較分析表（平成30年度決算）

埼玉県春日部市 春日部市立医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	未訓ガ	救臨が感輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
234,598	33,600	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

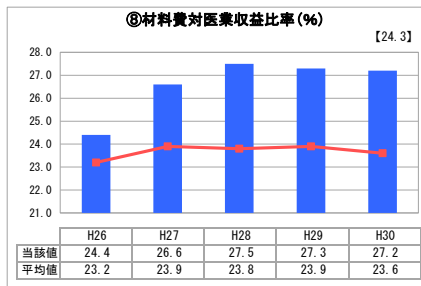
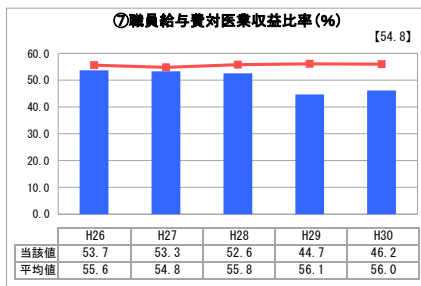
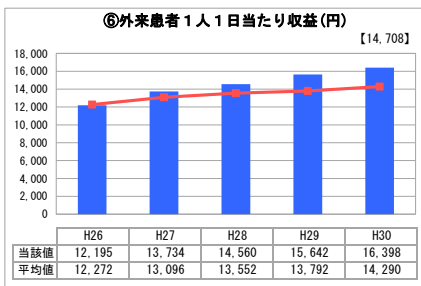
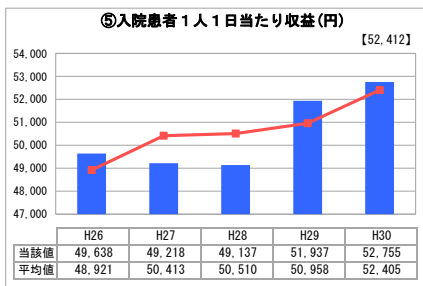
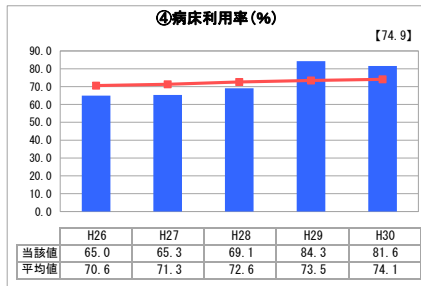
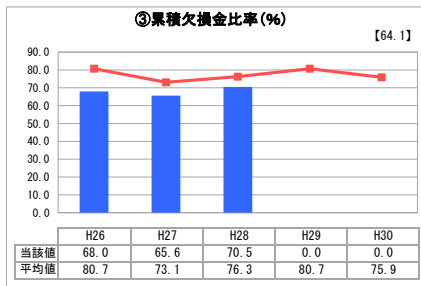
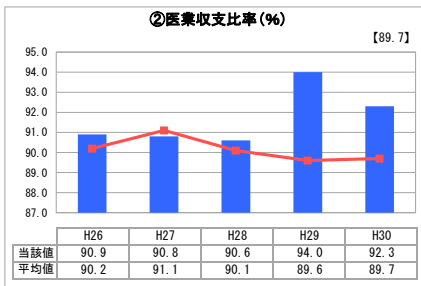
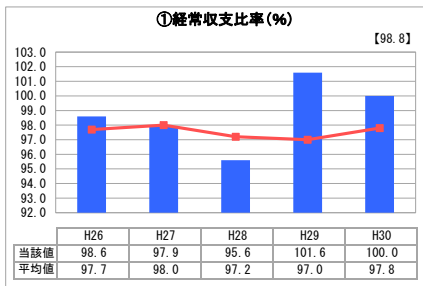
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
361	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	2	363
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
342	-	342

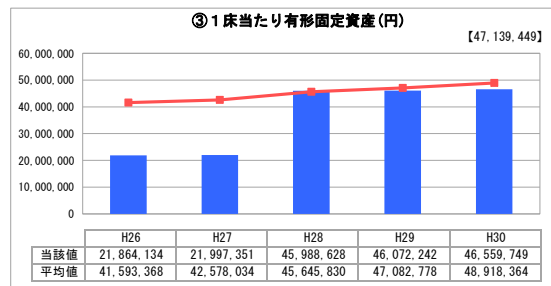
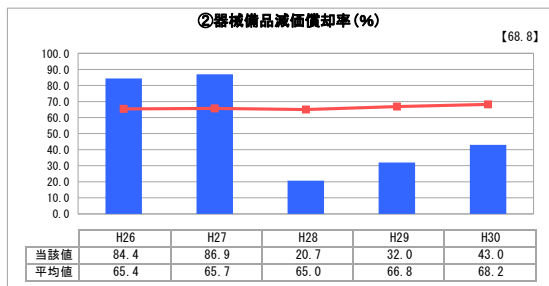
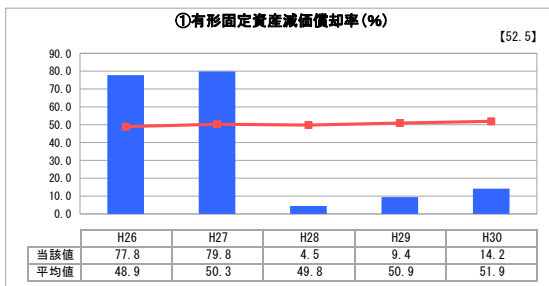
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

医療連携体制を支える地域の基幹病院として、地域で不足する専門的な医療を実施している。また、地域がん診療連携拠点病院として、先進的な設備や医療機器を導入し患者受け入れ態勢の強化を図るとともに、小児、周産期、救急、災害時医療などにおける地域拠点病院としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②医業収支比率は、外来患者数及び診療単価の増により外来収益が大幅な増となったものの、人件費、材料費等が増となった影響により下降した。
③累積欠損金は、平成28年度決算時に解消した。
④病床利用率は、入院期間の適正化等に伴う患者数の減により若干下降したものの、類似病院平均値を上回った。
⑤入院患者1人1日当たり収益は、入院期間の適正化により増額となった。
⑥外来患者1人1日当たり収益は、高額な薬品を使用する抗がん剤治療の影響で増加傾向である。
⑦職員給与費対医業収益比率は、患者数の増に対応するための看護師等を増員したため若干上昇した。
⑧材料費対医業収益比率は、高額な抗がん剤の使用の増により高く推移している。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②機械備品減価償却率は、新病院建物等の減価償却が始まったことで若干上昇したものの、当面は老朽化の問題はない。今後は施設等の経年劣化、医療機械の計画的な更新に備えていく。
③1床当たり有形固定資産は、新病院建物、構築物および新規導入した医療機械等の計上に伴い、高く推移している。

全体総括

当センターの経営状況については、入院収益は前年度と比較して減となったものの外来収益は大幅な増となり、医業収益全体では前年度を上回った。今後も引き続き、中期実施計画に基づき病診連携・病病連携を進め、手術件数、紹介率および逆紹介率の向上を図るとともに、救急医療体制の強化と新規入院患者を増やす取り組みを実施し、安定した持続可能な経営基盤を確立していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。